

令和7年度(2025年度) 中主小学校の教育

児童数 608名
学級数 28学級
教職員数 65名
(4月1日現在)

中主学区統一教育目標 自ら考え、未来を生きぬく中主っ子の育成

学校教育目標

心豊かでたくましい実践力のある中主っ子の育成

めざす学校像

- 『地域に信頼される学校』
- 地域や保護者と共に歩む学校
- 子ども、教師、保護者が元気な学校

めざす子ども像

- かんがえる子
- やさしい子
- げんきな子

めざす教師像

- 学び続ける教師
- 子どもの話を聴く教師
- 寄り添い、信頼される教師

まなびプロジェクト部会 **かんがえる子**

挑戦1 勉強がわかる児童 85%

<具体的方策>

◎ 学ぶ力向上策

視点1: 学びを実感できる授業づくり

- ①体験やICTを効果的に活用 「みんながわかる」
- ②本に親しむ 「読んだ数だけ新しいであいが」

視点2: 学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり

- ①違いを認め合える集団 「聴く、認める、ほめる」
- ②自分たちでできた経験と自信 「まかせてみる」

視点3: 子どものために一丸となって取り組む学校づくり

- ①学び合い、高め合い、情報共有する組織 「学年OJT」



こころプロジェクト部会 **やさしい子**

挑戦2 学校が楽しいと感じる児童 85%

<具体的方策>

1 すべての教育活動の中で人権同和教育・いじめ防止

- ・相手の立場で物事を考える取り組み

2 特別支援理解教育の推進

- ・特別支援学級と交流学級の連携強化

3 仲間づくりと人権学習を推進

- ・部落差別問題をはじめとする人権課題への系統的な学習
- ・厳しい家庭的背景を抱えている「しんどい子」に寄り添う姿勢

いのちプロジェクト部会 **げんきな子**

挑戦3 あいさつをする児童 85%

<具体的方策>

1 安全な学校生活

- ・仲間のことを考えた安全な行動(廊下歩行、感染対策等)
- ・もくもく掃除(無言掃除)の徹底

2 気持ちのよいあいさつ

- ・子ども、家庭、地域、教師、みんなであいさつ

3 生徒指導の組織対応

- ・3原則の徹底

- ①聴く・寄り添う ②ほめる・認める ③考え、判断させる

幼小中で一貫した教育を

- 「中主っ子」家庭教育スタンダード 「中主っ子」学びのスタンダード
中学校・幼稚園・保育所との連携強化

- 連携部会の充実
合同研修会の実施・OJTの共同実施
系統的な教育課程の検討

家庭・地域との連携

- 学校からの情報発信 学校だより、HP、メール配信等
- 地域とともにある学校づくり コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進
- 地域に学ぶ・地域を学ぶ 学校運営協議会、地域学校協働本部、PTA、自治連合会、青少年育成市民会議、民生児童委員 など 中主学区関係団体との連携